

年度末を迎えて

長崎県教育センター 副所長 西田 哲也



机上の暦は3月、年度末であることを静かに知らせている。3月には、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校それぞれの学校において最も大切な行事である卒業式が挙行される。毎年のことではあるが、次のステップへの夢や希望、期待を胸いっぱい抱いて我が校を巣立っていく卒業生の姿を見るにつけ、感慨はひとしおである。喜びや祝福の気持ちの後には、一緒に歩を進めてきた子ども達がいなくなる寂寥感とともに、自分の指導や接し方はこれでよかったのかと反省と後悔の念が沸きあがってくる。

教職員一人ひとりの胸中にさまざまな想いが去来する、それが3月。

平成30年度の教育センターの事業については、皆様のご理解とご協力により、概ね計画通りに終了することができました。皆様方のご協力に感謝いたします。さて、年度末には今年度の教育活動全般並びに個々の業務について、振り返りや反省を行い、次年度に引継ぎ、反映させる必要があります。ここでは、教育センターの主な取組について振り返ってみます。

1 経年研修

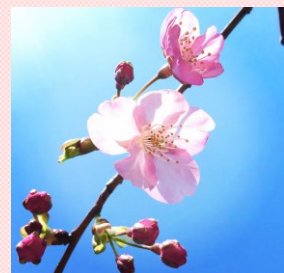
昨年度策定した「指標」並びに「長崎県教職員研修計画」を踏まえ、今年度は経年研修の内容・対象者の経験年数等、さまざまな見直しを行い実施しました。見直しの根底には、「経験年数や職種に応じた切れ目のない研修」、「学び続ける教師の育成」、「教職員は学校で育つ」という考えがあることを再度ご確認ください。

今年度から取り入れた「初任研ミーティング」や「メンター研修」については、実施形態・実施日等にまだまだ改善・工夫の余地を残していますが、実施主体である各学校のご努力により、概ね「効果的である」という好評価を得ることができました。今後も、皆様のご協力のもと、教職員の実践力や指導力の向上を図り、専門性と人間性・社会性の向上を目指していきます。

2 研修講座、セミナー等

本年度実施した研修講座数及び受講者数は、次のとおりです。

研修講座・セミナー	講座数	受講者数
研修講座	117	5,482名
学校経営セミナー	1	238名
ステップアップセミナー	1	413名
センター研究発表会	1	184名
合計	120	6,317名



☆平成30年度に招聘した講師（一部を掲載）

○京都産業大学 現代社会学部 教授 柴原 弘志 先生 【道徳の授業スキルアップ研修講座】

○大津市教育委員会前教育長（京都教育大学 名誉教授） 桶谷 守 先生

【いじめの予防と対応研修講座】

○福岡教育大学 教育学部 教授 一木 薫 先生

【自立活動の指導リーダー研修講座】

○筑波大学 人文社会系 教授 島田 康行 先生

【思考力・判断力・表現力を育む教科指導研修講座】

○常葉大学 教育学部 講師 佐藤 和紀 先生

【情報モラル教育研修講座】

○横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 先生

【ステップアップセミナー】

○甲南女子大学 人間科学部 教授 村川 雅弘 先生

【カリキュラム・マネジメントによる学校改善

など

上記以外にも、多くの著名な先生方を講師として招聘し、最新の情報や動向等を知る絶好の機会となっています。公開講座は講師の講義・講話だけを聴講することが可能ですので、ぜひ参加してみてください。

3 学校等に出向いて行う支援（主なもの、2月末現在の実績）

学校や研究組織を対象とした支援	出前講座	83回	1,853名
	研究援助	108回	3,847名
	他の出前型研修	42回	166名
幼児児童生徒を対象とした相談			1,532名

今年度も出前講座や研究援助等にたくさんの申し込みをいただき、ありがとうございました。

今年度は、例年にも増して「特別の教科 道徳」に関する依頼が多かったことが特徴的でした。また、出前講座等の申し込み・決定に際し、可能な限り対応させてもらいましたが、担当者の業務の関係上、日程調整等で一部の学校等にはご迷惑をおかけしました。

4 調査研究・リーフレットなど

(1) 『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善のリーフレット作成

今回は「深い学び」の鍵である「見方・考え方」について、子ども達への教師の働き掛けに焦点を当てて作成しています。先生方に実際に授業で実践してもらえるよう、授業改善の方向性を具体的に示していますので、ぜひ取り組んでみてください。（第3号H3 1.4発行予定）

(2) 「カリキュラム・マネジメント通信」

本年度は「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて第3号と第4号の通信を発行しました。カリキュラム・マネジメントを行う際の具体的な手順・ポイント等について掲載しています。また現在、第5号「学校の内と外をつなぐ」を鋭意作成中です。

(3) 「特別支援学校の教育の手引き」

特別支援学校の教育の充実を図るために、特別支援学校の教員として必要な知識や各学校の優れた教育実践などをまとめました。教育センターでの研修でテキストとして活用するとともに、校内研修や自己研修にも役立つ情報を充実させています。（H3 1.4県教育センターWebサイトにアップ予定）

(4) 「見守りシート活用ガイドブック」

「見守りシート」は、学校と保護者が共通の観点で子どもの成長の様子を見つめ、支援につなげるためのツールです。本ガイドブックは「見守りシート」を効果的に活用するための方法や活用事例についてまとめました。（H3 1.4県教育センターWebサイトにアップ予定）

5 管理職研修の見直し

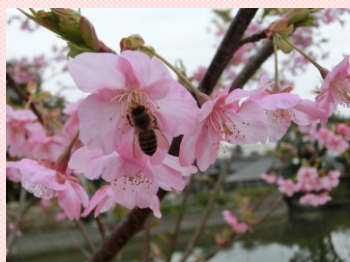
今年度は、次年度以降の管理職研修の見直しを行いました。見直しに際し、ご多忙の中、アンケートにご回答いただいた関係各位には大変感謝しております。今回、ご回答いただいた内容や意見等をできるだけ反映し、研修内容等を整理・統合して研修内容の見直しを行いました。主な変更点は次のとおりです。

(1) 教育センターにおける集合研修は1年目のみ。（新任校長研修・新任教頭研修）

(2) 教育センターにおける集合研修は、校長・教頭とともに、義務(小・中)と県立(高・特支)の同時開催。

(3) 2年目以降は教育センターや長崎大学大学院管理職養成コースの公開講座の選択研修。

※これ以外にも、見直し・変更等がありますので、管理職の先生方（特に新任の校長・教頭・事務長）は受講決定通知等でご確認ください。



教育センターでは、『学校支援 教員応援』を合言葉に、日々現場のニーズに即した研修講座等の構築・実施に取り組んでいます。

学習指導要領の改訂・全面実施をはじめ、学校現場を取り巻く環境が大きく変化する今の時代だからこそ、学び続ける教師であってほしい。さらに、教職員と子ども達、お互いの成長のためにも「年に一度は教育センターで研修を」の心意気を持ち続けていただきたい。

平成31年度も、本年度以上のご活用とご利用を期待しています。